

2024年

制作：広報部

ワッツアップ

こまつがわ 03月号

題字：宗新光さん

社会福祉法人ひらゐルミナル

地域活動支援センターこまつがわ

〒132-0034 東京都江戸川区小松川2-9-2 1階

☎ 03-5858-6421(代表)



出張となび in 平井小



2月16日(金)に啓発チーム【となび】が江戸川区立平井小学校の4年生に『こころのちがいとおなじ』の授業を主張開催してきました。実は昨年3年生の時に「ちがいとおなじ」の授業を受けている生徒さん達なんです。先生方から一年経って、「ちがいとおなじ」の次のステップになるような授業をしてもらいたいという依頼があり、実現しました。となびと先生方と一緒に授業内容を考え、今回は図工の授業の中で自分の心の中を知っていきながら、その気持ちを色や線で表現してみる事に決めました。初めての取り組みなのでチャレンジの始まりです。

中々大人でも自分の気持ちを知り、その気持ちが何故かを探る事って難しい事ですね。難しいからこそ、小学校4年生の子供達にどうやったら分かりやすく伝えられ、取り組みやすくなるのか考えてワークを取り入れました。ワークの内容は、自分の心を知るために「出来事(テーマ)」からどんな事を感じたのか?次になぜそう思ったんだろ?と書き出します。ここからが図工らしさが加わってくるんです。その時の気持ちって色や線に表すとどんななんだろう?と書き進めていき、それを元にして、別紙に自分の心の中を色や線で表していきます。



当日は昨年の2回の授業写真を見て「あ!ポッチャや金魚の人たちかー。」と思わせてくれた子供達が多く、その言葉だけでも嬉しくなります。最初の15分はとなびメンバーの例を言葉の掛け合いと絵を使いながらワークの説明をします。その後班にわかれて、となびを中心に散らばり子供達と会話をしながら取り組みます。用意したテーマは「運動会」、「休み時間」、「クラス替え」、「ケンカをした時」の4つです。各班で1つ目のテーマを決め、どんな感じで進めていくかやり取りをしながら描いていきます。作業を一旦止めて各班の発表を少し聞き、同じテーマでも10人10色の考え方や感じ方が違う事を実感してもらい、また作業に戻ります。2つ目からテーマをそれぞれが選び自分のペースで進めてもらい、子供達も慣れてきたのか各班ごとに盛り上がっている雰囲気が進んでいきました。前の黒板に先生が「こころのマップ」を大きな模造紙で用意してくれたので、子供達には絵が完成したら自分の絵がどの位置なのか考えながら貼り付けてもらいます。ゆっくり書く子、インスピレーションで早くかけた子、苦手なテーマを戸惑いながらも進めている子もいました。中にはこれのテーマ今描きたくないなーという子もチラホラ見受けられ、そんな時は無理に勧めず好きなテーマに変えてもいいんだよと伝えます。最後に出来上がった「こころのマップ」を見ると子供達の様々な心模様があふれ、私たちも感動してしまいました。

授業風景



皆でパシャリ!



今回の授業でとなびから「自分の心の中をちゃんと知って大事」「心ってみんな違う」「心のちがいとおなじがある」って事を心のどこかに置いておいてほしいな〜と3つの事を伝えました。今回は1日ばかりで凄く大変な1面はありましたが、子供達と一緒に取り組めた喜びのほうが大きく自分たちにとって学ぶ事も多い物となり、2年続けての活動の意義も感じました。そして、今回学校の給食をいただき何十年ぶりの学校給食にワクワクしながら、なんだか同窓会のような光景になりいい思い出です。

ご協力くださった先生方と4年生の皆さん、本当にありがとうございました。